再生クラッシャラン RC40
試 験 成 績 書

株式会社 フジックスコンクリート

〒498－0063

愛知県弥富市東末広9丁目38番地の1

TEL＜0567＞68－3787

FAX＜0567＞68－3718

様式第６

あいくる材認定証

６建企第２３３号
２０２４年８月１５日

弥富市東末広九丁目38番地の1
株式会社フジックスコンクリート
代表取締役　藤井　健治　様

愛知県知事　大村　秀章

愛知県リサイクル資材評価制度実施要領第11条の規定によって、申請のありました下記資材を認定します。

記

評価基準の区分	2)再生路盤材
資材名	再生クラッシャラン(RC-40)
寸法・規格	40～0mm
認定年月日	２０２４年８月３１日　更新
用途	路盤材、再生路盤材及び構造物の基礎材
認定番号	２）－１５３
認定の有効期間	２０２４年８月３１日から２０２７年８月３０日
工場等の所在地及び名称	弥富市東末広九丁目38番地の1 株式会社フジックスコンクリート

JQA

No.5003-23001611

付表：試験結果一覧表

試料名　：RC-40

試験日　：　2024年3月8日　～　2024年3月25日

ふるい分け試験		
ふるい目の呼び寸法(mm)	通過質量分率(%)	
	試験結果	あいくる材規格値
106		
75		
63		
53		100
37.5	100 ✓	95～100
31.5	92	
26.5	80	
19	64 ✓	50～80
13.2	44	
4.75	20 ✓	15～40
2.36	10 ✓	5～25
1.18	7	
0.600	5	
0.425	4	
0.300	3	
0.150	2	
0.075	1	

すりへり試験		
項目	試験結果	あいくる材規格値
すりへり減量(%)	35.0 ✓	50以下

単位容積質量及び実積率試験		
項目	試験結果	あいくる材規格値
単位容積質量(kg/L)	—	—
実積率(%)	—	—

密度及び吸水率試験		
項目	試験結果	あいくる材規格値
表乾密度(Mg/m³)	2.33	—
絶乾密度(Mg/m³)	2.14	—
吸水率(%)	8.95	—

不純物量試験		
*1分類	混入量(%)	
	試験結果	あいくる材規格値
A	0.01 ✓	0.15
B	0.00 ✓	0.03
C	0.00 ✓	0.15
D	0.00 ✓	0.06
E	0.01 ✓	0.03
F	0.00 ✓	0.30
全不純物量	0.02 ✓	0.30

液性・塑性限界試験		
項目	試験結果	あいくる材規格値
液性限界(%)	NP	—
塑性限界(%)	NP	—
塑性指数	NP ✓	6以下

土粒子の密度試験		
項目	試験結果	あいくる材規格値
土粒子の密度(Mg/m³)	2.55	—

締固め試験		
項目	試験結果	あいくる材規格値
最適含水比(%)	12.4	—
最大乾燥密度(Mg/m³)	1.72	—

修正CBR試験		
項目	試験結果	あいくる材規格値
90%CBR(%)	83.56	—
95%CBR(%)	177.58 ✓	30以上*3

鉄鋼スラグの水浸膨張試験		
項目	試験結果	あいくる材規格値
平均膨張比(%)	—	—

＊1　不純物の分類・内容については、愛知県リサイクル資材評価制度 2)再生路盤材 別表2-2-1による。
＊2　あいくる材規格値については、愛知県リサイクル資材評価制度 2)再生路盤材を参照した。
＊3　アスファルトコンクリート再生骨材を含む場合の修正CBRは40%以上とする。

以上

受付日 2024 年 3 月 4 日
No. 5003-23001611

試 験 成 績 書

株式会社 フジックスコンクリート 殿

件 名 : RC-40品質・性能の試験

試験品内容 : [種 別] RC-40

試 験 項 目 :
1. 骨材のふるい分け試験
2. ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験
3. 粗骨材の密度及び吸水率試験
4. 不純物量試験
5. 土の液性限界・塑性限界試験
6. 突固めによる土の締固め試験
7. 修正CBR試験

受領日(試料持込日) : 2024 年 3 月 4 日

試 験 日 : 2024 年 3 月 8 日 ～ 2024 年 3 月 25 日

試 験 結 果 : 次頁以降のとおり

試験実施場所:一般財団法人 日本品質保証機構 中部試験センター 名古屋マテリアルテクノ試験所 試験室

(注) : 1. 上記試験品は、試験申込者により試験実施場所へ持ち込まれたものである。
2. 試験品内容等については、試験申込者提出の試験申込書に基づき表記したものである。
3. 試験結果は当該試験品に対しての結果であり、製品すべてを保証するものではありません。

試験の結果は、上記のとおりであることを報告します。

2024 年 4 月 1 日

愛知県北名古屋市沖村沖浦39番地
一般財団法人 日本品質保証機構
中部試験センター
名古屋マテリアルテクノ試験所
所 長 宮 崎 貴 雄

この試験成績書の転載、一部分の複製をするときは当機構の承認を受けて下さい。
尚、成績書には改ざん防止策を施しています。

試 験 結 果

1. 骨材のふるい分け試験

試験方法：JIS A 5001:2008「道路用砕石」 5.2粒度試験、及び
JIS A 1102:2014「骨材のふるい分け試験方法」による。
ふるい分け方法：機械（ﾛｰﾀｯﾌﾟふるい分け試験機）後手動

ふるい目の呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる質量 (g)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量 (g)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
37.5	0	0	0	0	100
31.5	649	8	649	8	92
26.5	948	12	1597	20	80
19	1315	16	2912	36	64
13.2	1604	20	4516	56	44
4.75	2020	24	6536	80	20
2.36	800	10	7336	90	10
1.18	232	3	7568	93	7
0.600	151	2	7719	95	5
0.425	59	1	7778	96	4
0.300	52	1	7830	97	3
0.150	80	1	7910	98	2
0.075	61	1	7971	99	1
0.075未満	87	1	8058	100	0
合計	8058	100	—	—	—

2. ﾛｻﾝｾﾞﾙｽ試験機による粗骨材のすりへり試験

試験方法：JIS A 5001:2008「道路用砕石」 5.4すりへり減量試験、及び
JIS A 1121:2022「ﾛｻﾝｾﾞﾙｽ試験機による粗骨材のすりへり試験方法」による。

通るふるい (mm)	とどまるふるい (mm)	各群の質量分率 (%)	試験前の各群の質量 (g)	試験後1.7mmふるいにとどまった試料の質量 (g)	すりへり減量 (%)
2.5	—	10	—	3248.0	35.0
5	2.5	10	—		
13	5	24	5000.6		
20	13	20	—		
25	20	16	—		
40	25	20	—		
50	40	0	—		
合計		100	5000.6		

粒度区分：道路用 13-5区分　　球の数 ：8個 、 球の全質量： 3331.7 g

以 下 余 白

3. 粗骨材の密度及び吸水率試験

試験方法：JIS A 5001:2008「道路用砕石」 5.3絶乾密度及び吸水率試験、及び
JIS A 1110:2020「粗骨材の密度及び吸水率試験方法」による。

試験No.		密度 (g/cm³)		吸水率 (%)
		表乾	絶乾	
1		2.32	2.13	8.98
2		2.33	2.14	8.92
平均		2.33	2.14	8.95
平均値からの差		0.01	0.01	0.03
(g/cm³)	JIS	0.01以下		0.03以下

試験水の温度 ： 19 ℃
試験温度における密度ρw ： 0.9984 g/cm³

4. 不純物量試験

試験方法：JIS A 5021:2018 附属書B (規定)「限度見本による再生骨材Hの不純物量試験方法」を準用。

分類	不純物の内容	質量(g)	混入量(%)
A	ガラス片	1.2	0.01
B	石こう及び石こうボード片	0.0	0.00
C	その他無機質系ボード	0.0	0.00
D	プラスチック片	0.0	0.00
E	木片、紙くず等	1.0	0.01
F	アルミニウム、亜鉛以外の金属片	0.0	0.00
	不純物量の合計(全不純物量)	2.2	0.02

試料の絶乾質量 ： 10109.8g

特記事項

注1：不純物の分類・内容については、
愛知県リサイクル資材評価制度 2)再生路盤材 別表2-2-1による。
注2：各不純物混入量＝(各不純物質量/試料の絶乾質量)×100(%)
注3：不純物量の合計の混入量＝各不純物混入量の合計(A＋B＋C＋D＋E＋F)(%)

以 下 余 白

JQA

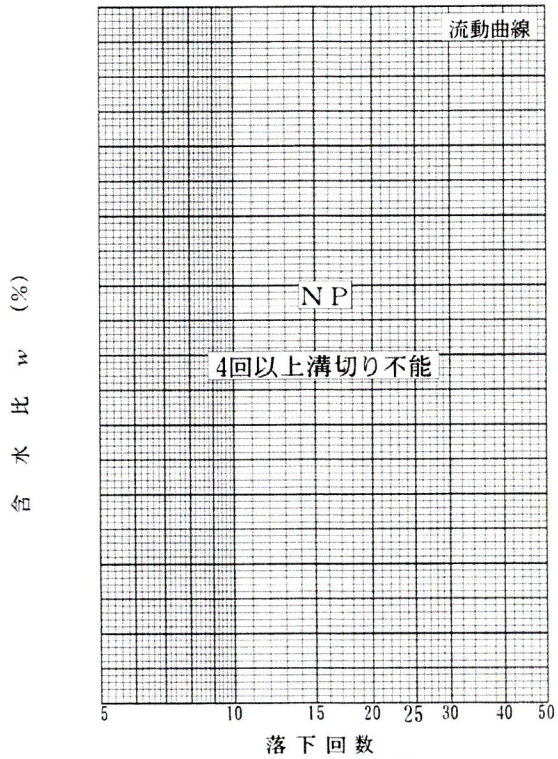
JIS A 1205	土の液性限界・塑性限界試験（測定）	受付番号 5003-23001611 総数 14 枚 4 頁

調査件名

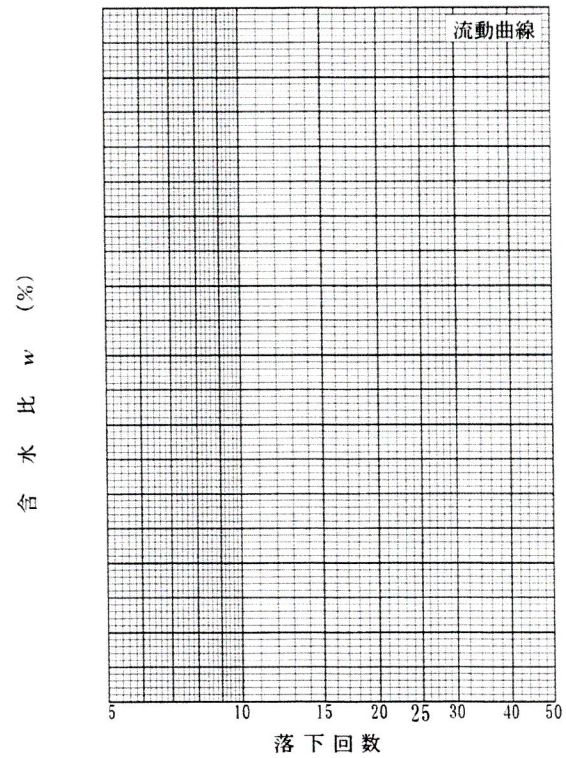
試験年月日 2024. 3. 19～3. 21

試 験 者 曽我

試料番号（深さ）				
液性限界試験				
落下回数				
含水比	容器No.			
	m_a g			
	m_b g			
	m_c g			
	w %			
落下回数				
含水比	容器No.			
	m_a g			
	m_b g			
	m_c g			
	w %			
塑性限界試験				
含水比	容器No.			
	m_a g			
	m_b g			
	m_c g			
	w %			
液性限界 w_L %		塑性限界 w_P %		塑性指数 I_P
NP		NP		NP



試料番号（深さ）				
液性限界試験				
落下回数				
含水比	容器No.			
	m_a g			
	m_b g			
	m_c g			
	w %			
落下回数				
含水比	容器No.			
	m_a g			
	m_b g			
	m_c g			
	w %			
塑性限界試験				
含水比	容器No.			
	m_a g			
	m_b g			
	m_c g			
	w %			
液性限界 w_L %		塑性限界 w_P %		塑性指数 I_P



特記事項

JIS A 1205 土の液性限界・塑性限界試験（試験結果）

受付番号 5003-23001611
総数 14 枚 5 頁

調査件名

試験年月日 2024. 3. 19～3. 21

試験者 曽我

試料番号（深さ）

液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	NP
			塑性限界 w_P %
			NP
			塑性指数 I_P
			NP

試料番号（深さ）

液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	
			塑性限界 w_P %
			塑性指数 I_P

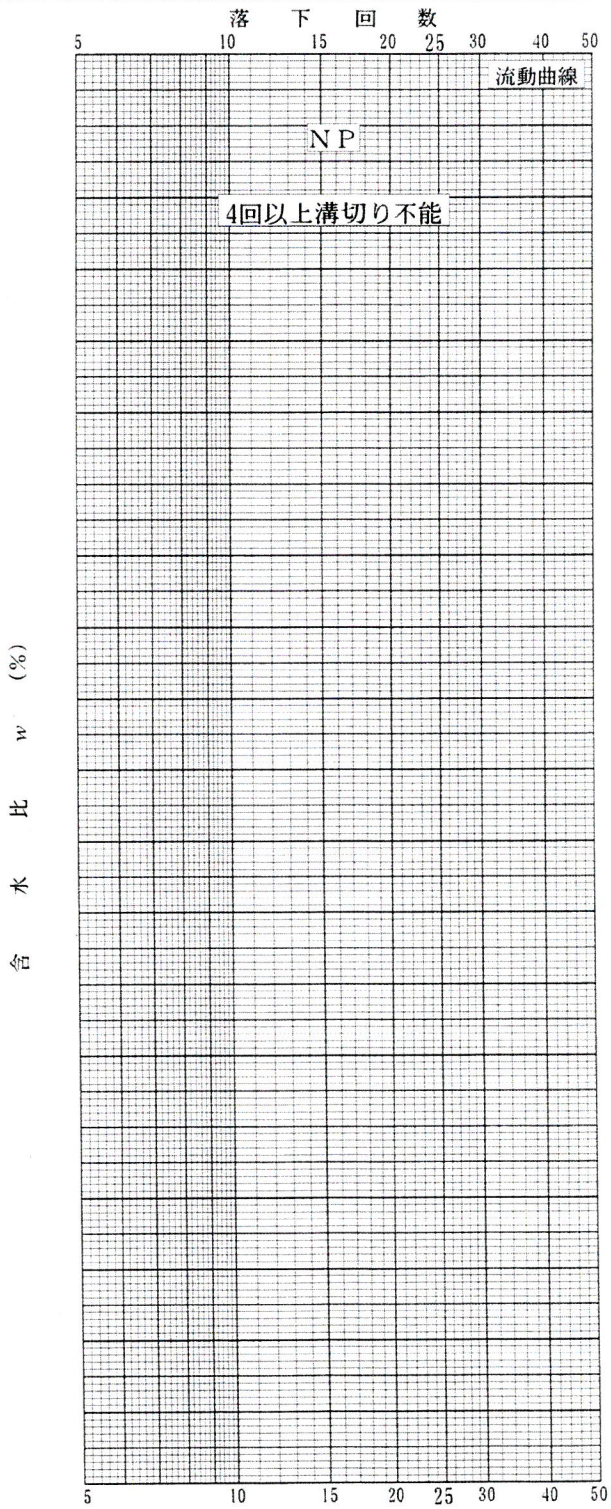
試料番号（深さ）

液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	
			塑性限界 w_P %
			塑性指数 I_P

試料番号（深さ）

液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	
			塑性限界 w_P %
			塑性指数 I_P

特記事項



JQA

JIS A 1210	突固めによる土の締固め試験（測定）	受付番号 5003-23001611 総数 14 枚 6 頁

調査件名　　試験年月日　2024. 3. 8～3. 13

試料番号　（深さ）　　試験者　曽我

試験方法		E－b	土質名称				
試料の準備方法		乾燥法，~~湿潤法~~	ランマー質量 kg	4.5	モールド	内径 mm	150
試料の使用方法		~~繰返し法~~，非繰返し法	落下高さ mm	450		高さ[1] mm	125.0
含水比	試料分取後 w_0 %		突固め回数 回/層	92		容量 V mm³	2209×10^3
	乾燥処理後 w_1 %		突固め層数 層	3		質量 m_1[2] g	8851

測定 No.		1	2	3	4
(試料+モールド) 質量 m_2[2]	g	12684	12866	12969	13120
湿潤密度 ρ_t	Mg/m³	1.74	1.82	1.86	1.93
平均含水比 w	%	6.3	8.2	10.2	12.4
乾燥密度 ρ_d	Mg/m³	1.64	1.68	1.69	1.72
含水比	容器 No.	7	9	11	1
	m_a	1506.3	1540.2	1537.5	1614.9
	m_b	1439.4	1452.4	1435.6	1480.3
	m_c	418.6	417.3	419.3	413.5
	w	6.6	8.5	10.0	12.6
	容器 No.	8	10	12	2
	m_a	1546.2	1552.3	1492.8	1461.1
	m_b	1482.7	1469.6	1391.7	1348.2
	m_c	414.1	413.0	412.5	414.9
	w	5.9	7.8	10.3	12.1

測定 No.		5	6	7	8
(試料+モールド) 質量 m_2[2]	g	13073	13051		
湿潤密度 ρ_t	Mg/m³	1.91	1.90		
平均含水比 w	%	12.6	12.8		
乾燥密度 ρ_d	Mg/m³	1.70	1.68		
含水比	容器 No.	3	5		
	m_a	1539.6	1466.1		
	m_b	1410.7	1344.0		
	m_c	414.0	413.8		
	w	12.9	13.1		
	容器 No.	4	6		
	m_a	1514.5	1549.2		
	m_b	1394.2	1424.0		
	m_c	418.0	420.0		
	w	12.3	12.5		

特記事項

1) 内径150mmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。
2) モールドの質量は底板を含む。

$$\rho_d = \frac{\rho_t}{1+w/100}$$

JQA

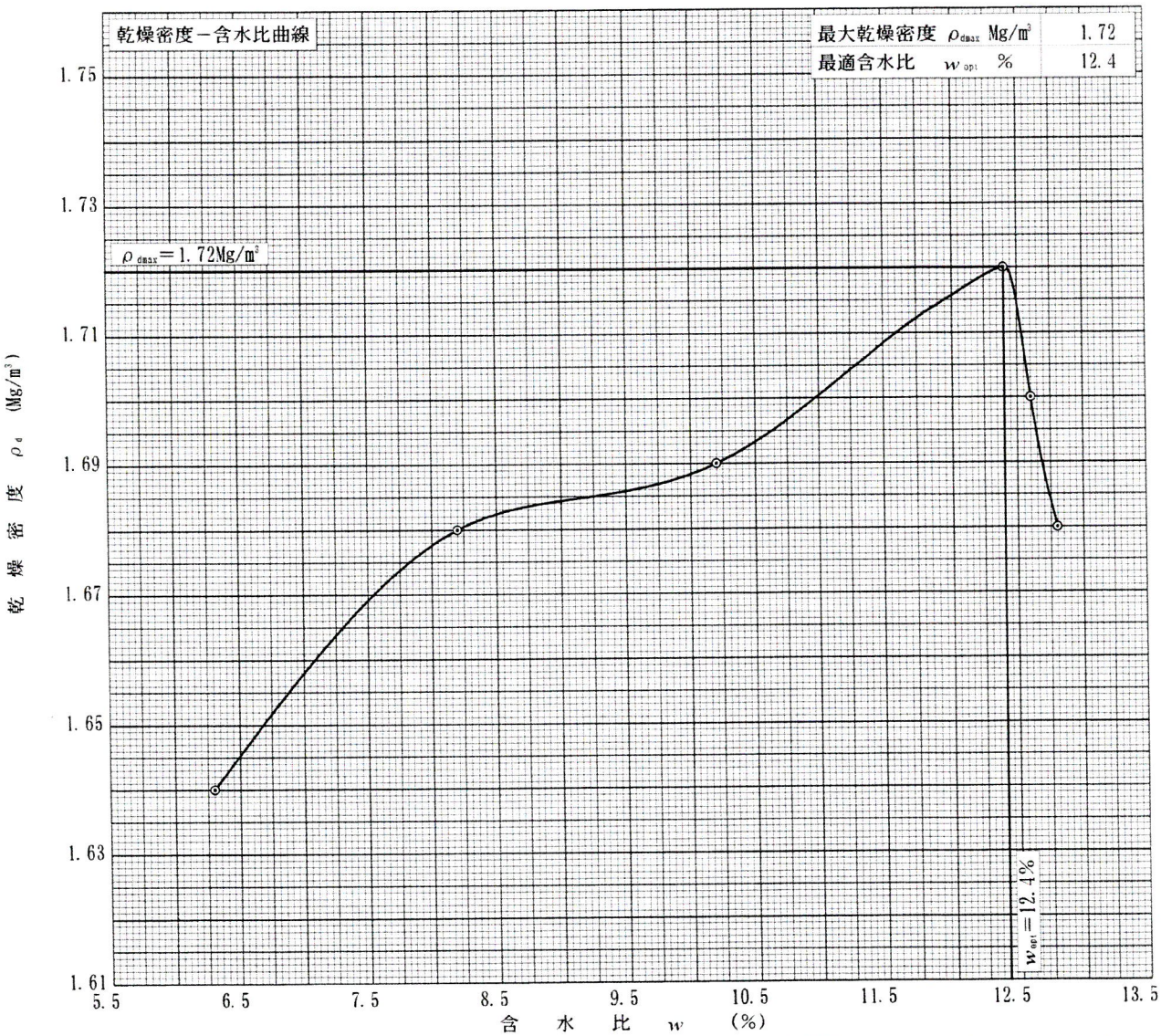
JIS A 1210	突固めによる土の締固め試験（締固め特性）	受付番号 5003-23001611 総数 14 枚 7 頁

調査件名　　試験年月日　2024. 3. 8～3. 13

試料番号　（深さ）　　試験者　曽我

試験方法	E－b	土質名称					
試料の準備方法	乾燥法，~~湿潤法~~	ランマー質量 kg	4.5	土粒子の密度 ρ_s Mg/m³	2.55		
試料の使用方法	~~繰返し法~~，非繰返し法	落下高さ mm	450	試料調製前の最大粒径 mm			
含水比 試料分取後 w_0 %		突固め回数 回/層	92	モールド	内径 mm	150	
含水比 乾燥処理後 w_1 %		突固め層数 層	3		高さ[1] mm	125.0	

測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 w %	6.3	8.2	10.2	12.4	12.6	12.8		
乾燥密度 ρ_d Mg/m³	1.64	1.68	1.69	1.72	1.70	1.68		



特記事項

1) 内径150mmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。

ゼロ空気間隙曲線の計算式

$$\rho_{dsat} = \frac{\rho_w}{\rho_w/\rho_s + w/100}$$

JQA

JIS A 1211	C B R 試 験（初期状態，吸水膨張試験）	受付番号 5003-23001611 総数 14 枚 8 頁

調査件名　　試験年月日　2024. 3. 13～3. 21

試料番号（深さ）　　試 験 者　曽我

試験方法		締固めた土，~~乱さない土~~	ランマー質量 kg	4.5	土質名称		
突固め方法		E-b	落下高さ mm	450	自然含水比 w_n %		
試料準備	準備方法	~~非乾燥法~~，空気乾燥法	突固め回数 回/層	17	最適含水比 w_{opt} %		12.4
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} Mg/m³		1.72
	試料調製後含水比 w_0 %		モールド 内径 mm	150	荷重板質量 kg		5.0
			モールド 高さ[1] mm	125	モールド容量 V mm³		2209×10³

供試体 No.		1		2		3		
含水比	容器 No.	27	28	29	30	31	32
	m_a g	1445.8	1763.8	1446.8	1305.8	1369.7	1289.7
	m_b g	1340.9	1620.4	1328.3	1211.8	1270.1	1199.5
	m_c g	419.9	420.8	413.2	417.7	414.2	419.5
	w_1 %	11.4	12.0	12.9	11.8	11.6	11.6
	平均値 w_1 %	11.7		12.4		11.6	
密度	(試料+モールド) 質量 m_2[2] g	12327		12249		12136	
	モールド質量 m_1[2] g	8789		8806		8812	
	湿潤密度 ρ_t Mg/m³	1.60		1.56		1.50	
	乾燥密度 ρ_d Mg/m³	1.43		1.39		1.34	
吸水膨張試験	水浸時間 h　時刻	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0　3/15 12:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	1　3/15 13:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	2　3/15 14:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	4　3/15 16:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	8　3/15 20:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	24　3/16 12:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	48　3/17 12:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	72　3/18 12:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	96　3/19 12:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	(試料+モールド) 質量 m_3[2] g	12391		12293		12187	
	膨張比 r_e %	0.00		0.00		0.00	
	湿潤密度 ρ_t' Mg/m³	1.63		1.58		1.53	
	乾燥密度 ρ_d' Mg/m³	1.43		1.39		1.34	
	平均含水比 w' %	14.0		13.7		14.2	

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。
2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$r_e = \frac{\text{供試体の膨張量(mm)}}{\text{供試体の最初の高さ(125mm)}} \times 100$$

$$\rho_t' = \frac{m_3 - m_1}{V\,(1 + r_e/100)} \times 10^3$$

$$\rho_d' = \frac{\rho_d}{1 + r_e/100}$$

$$w' = \left(\frac{\rho_t'}{\rho_d'} - 1\right) \times 100$$

JQA

JIS A 1211	C B R 試 験（室内試験結果）	受付番号 5003-23001611 総数 14 枚 9 頁

調査件名　　試験年月日　2024.3.13～3.21

試料番号（深さ）　　試験者　曽我

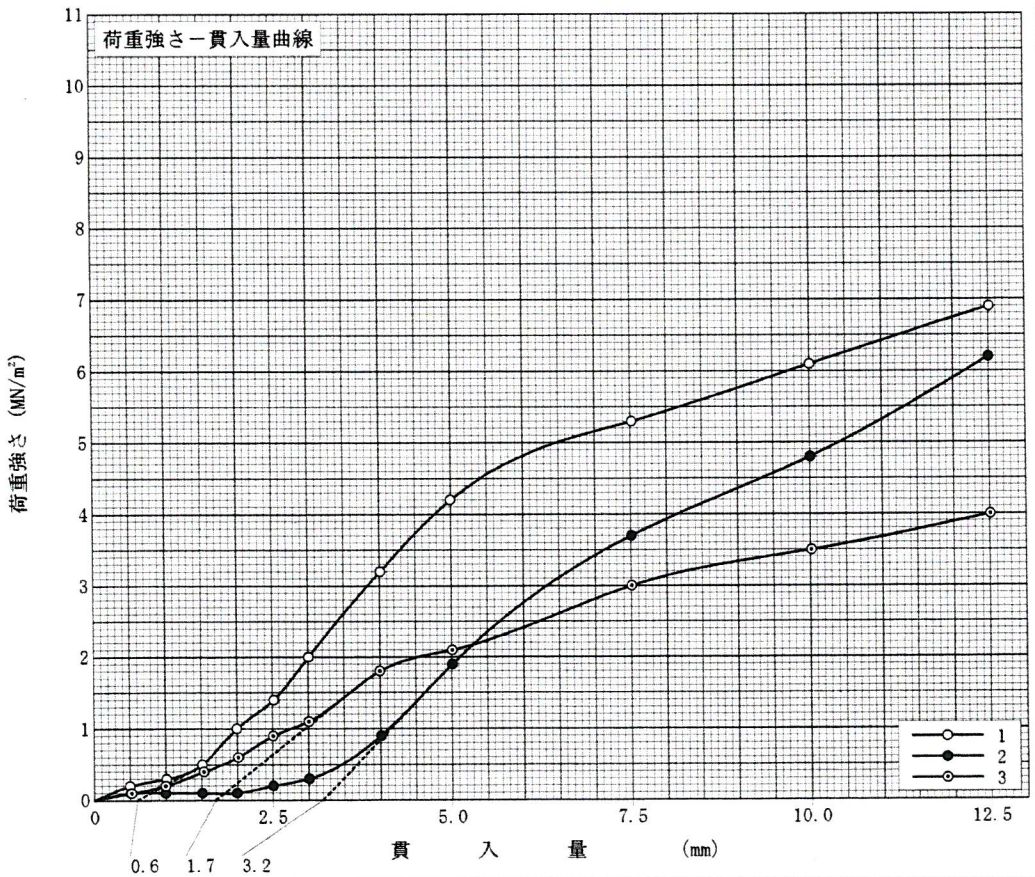
試験方法	締固めた土, ~~乱さない土~~	ランマー質量		kg	4.5	土質名称	
突固め方法	E-b	落下高さ		mm	450	空気乾燥前含水比	%
試料の準備方法	~~非乾燥法~~, 空気乾燥法	突固め回数		回/層	17	自然含水比 w_n	%
試験条件	水浸, ~~非水浸~~	突固め層数		層	3	最適含水比 w_{opt}	% 12.4
養生条件	日空気中	モールド	内径	mm	150	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	Mg/m³ 1.72
	4 日水浸		高さ 1)	mm	125		

供試体 No.			1	2	3
吸水膨張試験	前	含水比 w_1 %	11.7	12.4	11.6
		乾燥密度 ρ_d Mg/m³	1.43	1.39	1.34
	後	膨張比 r_e %	0.00	0.00	0.00
		平均含水比 w' %	14.0	13.7	14.2
		乾燥密度 ρ'_d Mg/m³	1.43	1.39	1.34
貫入試験	試験後の含水比 w_2 %		12.3	12.9	13.2
	貫入量2.5mmにおけるCBR%		30.43	36.23	27.54
	貫入量5.0mmにおけるCBR%		44.66	38.83	26.21
	C B R %		30.43	36.23	27.54

平均CBR %
31.40

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m² ≒ 10.2kgf/cm²]
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm		2.5	5.0
荷重強さ	供試体 No.1	2.1	4.6
	供試体 No.2	2.5	4.0
	供試体 No.3	1.9	2.7
標準荷重強さ MN/m²		6.9	10.3
~~標準荷重~~ kN		13.4	19.9

JQA

JIS A 1211	C B R 試 験 （初期状態，吸水膨張試験）	受付番号 5003-23001611 総数 14 枚 10 頁

調査件名　　試験年月日　2024. 3. 13～3. 21

試料番号（深さ）　　試 験 者　曽我

試験方法	締固めた土, ~~乱さない土~~	ランマー質量 kg	4.5	土質名称		
突固め方法	E-b	落下高さ mm	450	自然含水比 w_n %		
試料準備 準備方法	~~非乾燥法~~, 空気乾燥法	突固め回数 回/層	42	最適含水比 w_{opt} %	12.4	
試料準備 空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} Mg/m³	1.72	
試料準備 試料調製後含水比 w_0 %		モールド 内径 mm	150	荷重板質量 kg	5.0	
		モールド 高さ[1] mm	125	モールド容量 V mm³	2209×10^3	

	供試体 No.		4		5		6	
含水比	容器 No.		33	34	35	36	37	38
	m_a	g	1695.7	1685.7	1661.0	1609.9	1391.6	1388.0
	m_b	g	1563.3	1553.3	1527.5	1477.1	1290.2	1285.0
	m_c	g	421.0	415.5	419.3	413.4	414.0	418.2
	w_1	%	11.6	11.6	12.0	12.5	11.6	11.9
	平均値 w_1	%	11.6		12.3		11.8	
密度	(試料＋モールド) 質量 m_2[2]	g	12764		12646		12718	
	モールド質量 m_1[2]	g	8809		8834		8828	
	湿潤密度 ρ_t	Mg/m³	1.79		1.73		1.76	
	乾燥密度 ρ_d	Mg/m³	1.60		1.54		1.57	

吸水膨張試験	水浸時間 h	時刻	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0	3/15 12:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	1	3/15 13:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	2	3/15 14:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	4	3/15 16:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	8	3/15 20:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	24	3/16 12:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	48	3/17 12:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	72	3/18 12:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	96	3/19 12:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	(試料＋モールド) 質量 m_3[2]	g	12823		12739		12784	
	膨張比 r_e	%	0.00		0.00		0.00	
	湿潤密度 ρ_t'	Mg/m³	1.82		1.77		1.79	
	乾燥密度 ρ_d'	Mg/m³	1.60		1.54		1.57	
	平均含水比 w'	%	13.8		14.9		14.0	

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。
2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$r_e = \frac{\text{供試体の膨張量(mm)}}{\text{供試体の最初の高さ(125mm)}} \times 100$$

$$\rho_t' = \frac{m_3 - m_1}{V\,(1 + r_e/100)} \times 10^3$$

$$\rho_d' = \frac{\rho_d}{1 + r_e/100}$$

$$w' = \left(\frac{\rho_t'}{\rho_d'} - 1\right) \times 100$$

JQA

JIS A 1211	C B R 試 験（室内試験結果）	受付番号 5003-23001611 総数 14 枚 11 頁

調査件名　　試験年月日　2024. 3. 13～3. 21

試料番号（深さ）　　試 験 者　曽我

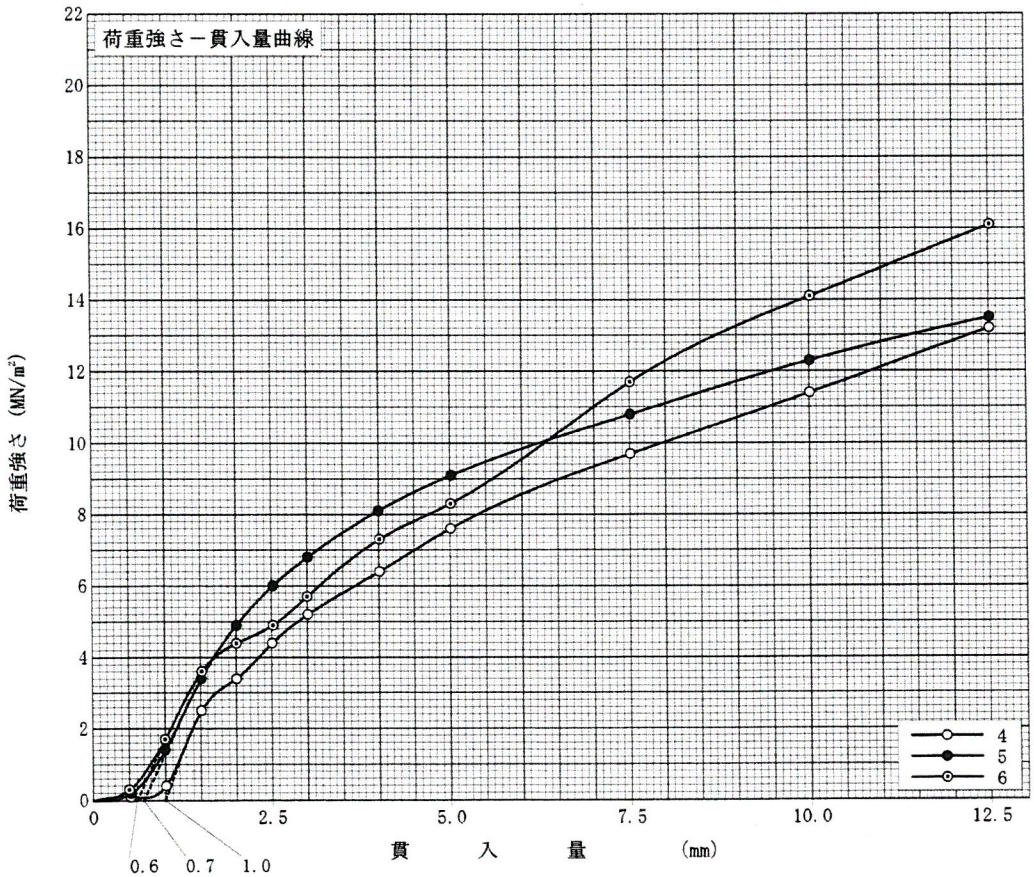
試験方法	締固めた土，~~乱さない土~~	ランマー質量		kg	4.5	土質名称	
突固め方法	E-b	落下高さ		mm	450	空気乾燥前含水比	%
試料の準備方法	~~非乾燥法~~，空気乾燥法	突固め回数		回/層	42	自然含水比 w_n	%
試験条件	水浸，~~非水浸~~	突固め層数		層	3	最適含水比 w_{opt}	% 12.4
養生条件	日空気中	モールド	内径	mm	150	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	Mg/m³ 1.72
	4 日水浸		高さ[1]	mm	125		

供試体 No.			4	5	6
吸水膨張試験	前	含水比 w_1 %	11.6	12.3	11.8
		乾燥密度 ρ_d Mg/m³	1.60	1.54	1.57
	後	膨張比 r_e %	0.00	0.00	0.00
		平均含水比 w' %	13.8	14.9	14.0
		乾燥密度 ρ'_d Mg/m³	1.60	1.54	1.57
貫入試験	試験後の含水比 w_2 %		13.4	13.7	13.7
	貫入量2.5mmにおけるCBR%		84.06	102.90	85.51
	貫入量5.0mmにおけるCBR%		83.50	93.20	87.38
	C B R %		84.06	102.90	85.51

平均CBR %
90.82

特記事項

1）スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m² ≒ 10.2kgf/cm²]
[1kN ≒ 102kgf]

貫入量 mm		2.5	5.0
荷重強さ	供試体 No.4	5.8	8.6
	供試体 No.5	7.1	9.6
	供試体 No.6	5.9	9.0
標準荷重強さ MN/m²		6.9	10.3
~~標準荷重~~ kN		13.4	19.9

JQA

JIS A 1211	C B R 試 験（初期状態，吸水膨張試験）	受付番号 5003-23001611 総数 14 枚 12 頁

調査件名　　試験年月日　2024. 3. 13～3. 21

試料番号（深さ）　　試 験 者　曽我

試験方法		締固めた土，~~乱さない土~~	ランマー質量	kg	4.5	土質名称	
突固め方法		E-b	落下高さ	mm	450	自然含水比 w_n	%
試料準備	準備方法	~~非乾燥法~~，空気乾燥法	突固め回数	回/層	92	最適含水比 w_{opt}	% 12.4
	空気乾燥前含水比	%	突固め層数	層	3	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	Mg/m³ 1.72
	試料調製後含水比 w_0	%	モールド 内径	mm	150	荷重板質量	kg 5.0
			モールド 高さ[1]	mm	125	モールド容量 V	mm³ 2209×10^3

供試体 No.		7		8		9		
含水比	容器 No.	19	20	21	22	23	24	
	m_a g	1413.8	1540.0	1242.2	1424.4	1442.6	1390.9	
	m_b g	1310.6	1424.0	1155.1	1320.7	1334.9	1286.7	
	m_c g	417.3	418.3	419.5	422.2	413.4	419.5	
	w_1 %	11.6	11.5	11.8	11.5	11.7	12.0	
	平均値 w_1 %	11.6		11.7		11.9		
密度	(試料＋モールド) 質量 m_2[2] g	13070		13146		13101		
	モールド質量 m_1[2] g	8825		8810		8819		
	湿潤密度 ρ_t Mg/m³	1.92		1.96		1.94		
	乾燥密度 ρ_d Mg/m³	1.72		1.75		1.73		
吸水膨張試験	水浸時間 h / 時刻	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	
	0 / 3/15 12:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	1 / 3/15 13:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	2 / 3/15 14:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	4 / 3/15 16:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	8 / 3/15 20:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	24 / 3/16 12:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	48 / 3/17 12:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	72 / 3/18 12:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	96 / 3/19 12:00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	(試料＋モールド) 質量 m_3[2] g	13140		13207		13157		
	膨張比 r_e %	0.00		0.00		0.00		
	湿潤密度 ρ_t' Mg/m³	1.95		1.99		1.96		
	乾燥密度 ρ_d' Mg/m³	1.72		1.75		1.73		
	平均含水比 w' %	13.4		13.7		13.3		

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。
2) モールドの質量は有孔底板を含む。

$$r_e = \frac{\text{供試体の膨張量(mm)}}{\text{供試体の最初の高さ(125mm)}} \times 100$$

$$\rho_t' = \frac{m_3 - m_1}{V\,(1 + r_e/100)} \times 10^3$$

$$\rho_d' = \frac{\rho_d}{1 + r_e/100}$$

$$w' = \left(\frac{\rho_t'}{\rho_d'} - 1\right) \times 100$$

JQA

JIS A 1211	C B R 試 験（室内試験結果）	受付番号 5003-23001611 総数 14 枚 13 頁

調査件名　　試験年月日　2024. 3. 13～3. 21

試料番号（深さ）　　試 験 者　曽我

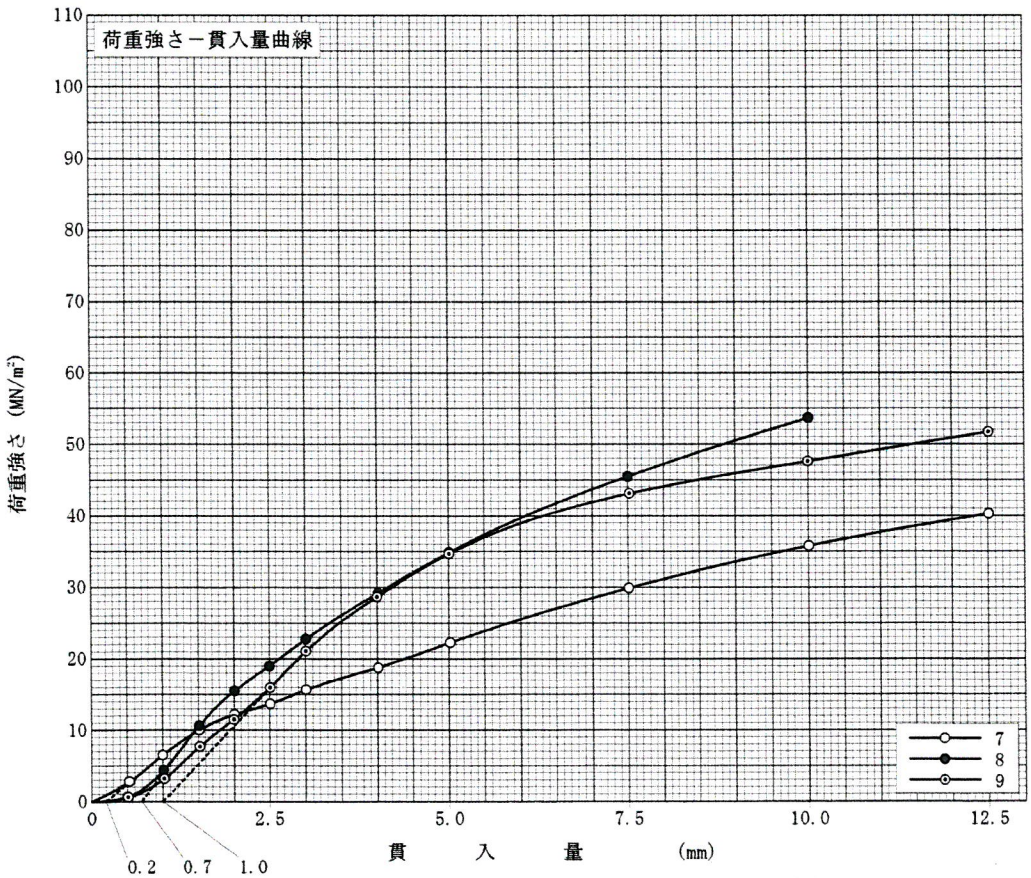
試験方法	締固めた土, ~~乱さない土~~	ランマー質量		kg	4.5	土質名称	
突固め方法	E-b	落下高さ		mm	450	空気乾燥前含水比	%
試料の準備方法	~~非乾燥法~~, 空気乾燥法	突固め回数		回/層	92	自然含水比 w_n	%
試験条件	水浸, ~~非水浸~~	突固め層数		層	3	最適含水比 w_{opt}	% 12.4
養生条件	日空気中	モールド	内径	mm	150	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	Mg/m³ 1.72
	4 日水浸		高さ[1]	mm	125		

供試体 No.			7	8	9
吸水膨張試験	前	含水比 w_1 %	11.6	11.7	11.9
		乾燥密度 ρ_d Mg/m³	1.72	1.75	1.73
	後	膨張比 r_e %	0.00	0.00	0.00
		平均含水比 w' %	13.4	13.7	13.3
		乾燥密度 ρ'_d Mg/m³	1.72	1.75	1.73
貫入試験	試験後の含水比 w_2 %		13.0	13.1	12.8
	貫入量2.5mmにおけるCBR%		208.70	349.28	365.22
	貫入量5.0mmにおけるCBR%		222.33	371.84	377.67
	C B R %		208.70	349.28	365.22

平均CBR %
307.73

特記事項

1) スペーサーディスクの高さを差引く。



[1MN/m²≒10.2kgf/cm²]
[1kN≒102kgf]

貫入量 mm		2.5	5.0
荷重強さ	供試体 No.7	14.4	22.9
	供試体 No.8	24.1	38.3
	供試体 No.9	25.2	38.9
標準荷重強さ MN/m²		6.9	10.3
~~標準荷~~重 kN		13.4	19.9

一般財団法人 日本品質保証機構

JQA

修　正　C　B　R　試　験

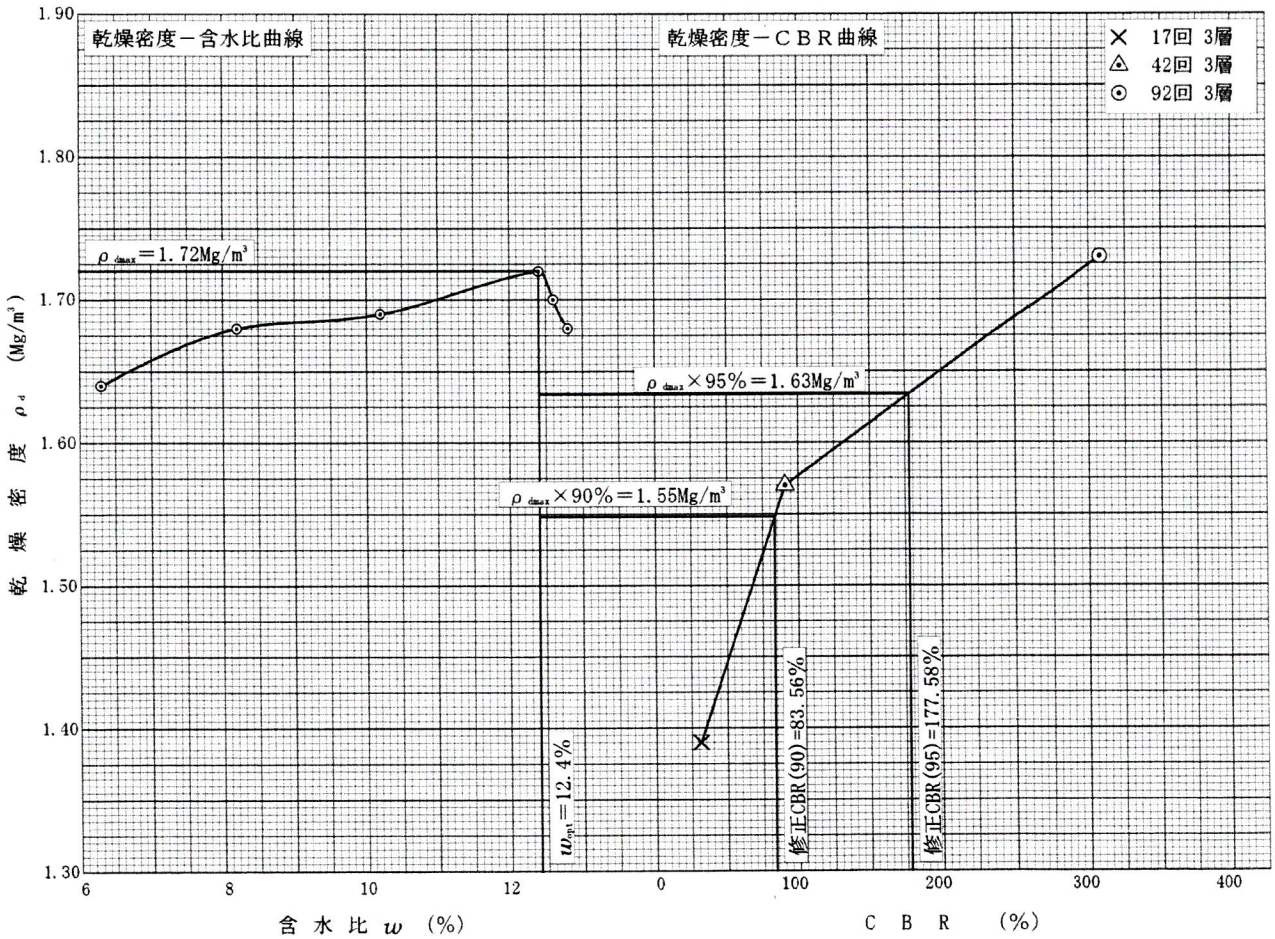
受付番号 5003-23001611
総数 14 枚 14 頁

調査件名　　試験年月日 2024. 3. 13～3. 21

試料番号（深さ）　　試 験 者 曽我

突固め回数 回/層	17 （3 層）			42 （3 層）			92 （3 層）		
供試体 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9
乾燥密度 ρ_d Mg/m³	1.43	1.39	1.34	1.60	1.54	1.57	1.72	1.75	1.73
平均値 ρ_d Mg/m³	1.39			1.57			1.73		
貫入量2.5mmにおけるCBR %	30.43	36.23	27.54	84.06	102.90	85.51	208.70	349.28	365.22
平均値 %	31.40			90.82			307.73		
貫入量5.0mmにおけるCBR %	44.66	38.83	26.21	83.50	93.20	87.38	222.33	371.84	377.67
平均値 %	36.57			88.03			323.95		

ランマー質量 kg	4.5	最大乾燥密度 ρ_{dmax} Mg/m³	1.72	締固め度 %	90	95
		最適含水比 w_{opt} %	12.4	修正CBR %	83.56	177.58



特記事項